

# 日本のポスター展

京都工芸繊維大学 美術工芸資料館コレクション

会期：2022年7月9日（土）～8月21日（日）

※★印を除いて、すべて京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵。★は呉市立美術館蔵。

※展示構成、出品作家、作品は変更になる場合があります。

※一部の作品は写真撮影が可能です。フラッシュはご遠慮ください。

## 呉市立美術館

### 【日本のポスターの歴史】

日本の商業ポスターの歴史は、19世紀後半に海外からポスター製品が日本国内へ持ち込まれたことから始まります。それらは当時ヨーロッパで花開いたアール・ヌーヴォー様式のものが中心で、流麗な線と華やかな色彩を特徴としていました。日本の図案家たちは、ジュール・シェレやアルフォンス・ミュシャといったアール・ヌーヴォーの人気デザイナーたちが手がけたポスターを翻案し、西洋由来のモダンなデザインと日本の美人画を組み合わせ、大衆の目を引こうとしました。

商業ポスターの発展は印刷技術の発展とも密接に結びついています。木版から石版、そしてオフセット印刷と新たな印刷技術が実用化されるごとに、ポスターの製作にかかる工程は減り、大量に印刷・配布することも可能となりました。こうして商品や企業広告としてのポスターが大衆に定着していきました。

本展ではポスターのデザインや印刷技術の変遷とともに時代の移り変わりをたどります。

作者名	作品名	制作年	Title	寸法 (mm)
<b>序章 あ、懐かしの</b>				
1 作者不詳	一番搾り／Kirin	1997頃	Beer, Ichibanshibori / Kirin	1,030 × 1,456
2 作者不詳	iモード／Docomo	2000頃	i-mode / Docomo	1,030 × 1,456
3 作者不詳	樹氷／Suntory	1988頃	Shochu, Juhyo / Suntory	1,030 × 728
4 作者不詳	ザ・モルツ／Suntory	1994頃	Beer, The Malt's / Suntory	1,030 × 728
5 作者不詳	メンズムース／Shiseido	1986頃	Men's Mousse / Shiseido	1,030 × 728
6 作者不詳	レシエンテ／Shiseido	1990頃	Lipstick, Reciente / Shiseido	1,030 × 728
7 作者不詳	カメラ テレエクセル芸達写／Nikon	1987頃	Camera Telexel Geitassha / Nikon	1,030 × 728
8 作者不詳	ビデオカメラ MV-CS3F／Mitsubishi	1989頃	Video Camera / Mitsubishi	1,030 × 728
9 作者不詳	ワープロU1PRO503Ai／Panasonic	1989頃	Word Processor / Panasonic	1,030 × 728
10 作者不詳	パーソナル・コンピューター HIT BIT SMC-777／Sony	1989頃	Personal Computer / Sony	1,030 × 728
11 作者不詳	サニー・カリフォルニア／Nissan	1988頃	Sunny California / Nissan	1,030 × 728
12 作者不詳	シーマ／Nissan	1988頃	CIMA / Nissan	1,030 × 728
13 作者不詳	アダムス・ファミリー／トライスター・ ピクチャーズ	1992頃	The Addams Family / Tristar Pictures, Inc.	1,030 × 728
14 作者不詳	マスク／ヒューマックス・シネマ	1995頃	MASK / Humax Cinema Inc.	1,030 × 728
15 作者不詳	さよなら李香蘭／共同テレビジョン・フ ジテレビ	1997頃	Good-bye Rikoran / Kyodo Television, Fuji Television	1,030 × 728

## 第1章 日本における広告の歴史

### 【引札】

引札（ひきふだ）とは江戸時代後期から大正ごろまで作成されていた紙札で、日本におけるチラシ広告の先駆的存在です。その語源は諸説ありますが「客を寄せる札」という意味や、古くは「配る」ことを「引く」と言っていたため「配る札」という意味が込められていたと解釈されています。引札は江戸後期における木版印刷技術の発展に伴って大量に生産され、商品の宣伝や、商店の新規開店や所在などの情報を認知させるために配布されました。

明治以降に流行したのが「正月用引札」と呼ばれるものです。図像は七福神など縁起のよい吉祥のイメージや、花鳥風月、歴史上の人物など様々でした。石版印刷など、木版より高度な技術が使われるようになり、鮮明で華やかな色彩が特徴です。正月用引札は年末年始に新年のあいさつをかねて商店から顧客に配布され、商店や商品の情報以外に、暦（カレンダー）や郵便料金表といった生活に役立つ情報が掲載されたものもありました。これらは顧客にとって日常的な実用性があるだけでなく、長く壁に貼られることで持続的な広報効果が期待できました。

16	作者不詳	引札／恵比寿と福助	1903	Handbill, Ebisu and Fukusuke	258×375
17	作者不詳	引札／飛行機	明治～大正時代	Handbill, Airplane	380×515
18	作者不詳	引札／雪兎	明治～大正時代	Handbill, Snow Hare	255×372
19	作者不詳	引札／岡蒸気	1904	Handbill, Steam Locomotive	259×373
20	作者不詳	引札／七福神	明治～大正時代	Handbill, Seven Deities of Good Luck	259×367
21	作者不詳	引札／恵比寿大黒	明治～大正時代	Handbill, Ebisu and Daikoku	256×367

## 第2章 消費生活の訪れ

22	岡田三郎助	三越呉服店（むらさきしらべ）	1909	Mitsukoshi Kimono Store (Murasakishirabe)	751×614
23	作者不詳	新館完成大売出し／丸物	1931以降	Marubutsu Store	406×778
24	作者不詳	売場拡張披露大売出し／丸物	1931以降	Marubutsu Store	391×752
25	多田北鳥	八王子銘仙、紬／八王子織物同業組合	1927頃	Silk Fabric, Hachioji-Meisen, Tsumugi	921×619
26	作者不詳	若草染帯側／京都KFC	1920-30年代	Obi Material, Wakakusa-zome	928×614
27	Ryo	万人履／万人履ゴム製作所	1930年代	Japanese Sandals, Banninbaki	627×438
28	奥山儀八郎	ニッケ水泳着	1937	Nikke Bathing Suits	767×528
29	松田富喬	清酒 月桂冠／大倉	1930年代後半	Sake, Gekkeikan	912×618
30	松田富喬	清酒 白鶴	1937	Sake, Hakutsuru	898×618
31	作者不詳	梅ヶ谷／長門屋本店	1924-36	Sake, Umegatani	782×531
32	井上木它、片岡敏郎	赤玉ポートワイン	1922	Akadama Port Wine	841×614

### 【赤玉ポートワイン】

1922年に登場した《赤玉ポートワイン》のポスターは、日本の広告史における最も有名なポスターのひとつといえるでしょう。広告主の鳥井商店（現・サントリー）が主宰する赤玉歌劇団のプリマドンナであった松島栄美子がモデルをつとめ、肩と胸元をあらわにしてはにかむ彼女の姿は大衆の心をわしづかみにしました。人物はモノクロ調でまとめ、グラスに注がれたワインだけに深紅の彩色を施した対比も人々に強烈な印象を与えました。

ポスターは何らかの事物を人々に知らせるために製作されるものであり、ポスター自体が注目を集め、話題になる必要があります。日本で最初ともいわれるこのヌード・ポスターは、掲示された途端に持ち去られるほど人気だったそうです。

33	多田北鳥	蜂印香鼠葡萄酒／株式会社近藤利兵衛商店	1921-23	Wine, Hachijirushi Kozan Budo-shu	907×607
34	作者不詳	ユニオンビール	c.1922-25	Union Beer	915×618
35	高木保翠	アサヒビール、サッポロビール、エビスビール／大日本麦酒株式会社	1920-30年代	Asahi Beer, Sapporo Beer, Ebisu Beer	917×614
36	作者不詳	エビスビール／大日本麦酒株式会社	1930頃	Ebisu Beer	925×615
37	和田三造	高級ビール カスケード／日英醸造株式会社	1921-26頃	Cascade Beer	889×607
38	作者不詳	ダイヤモンドレモン、オレンジ、サイダーシトロン／株式会社布引鉄泉所	1930頃	Soda, Diamond Lemon, Orange, Citron	915×617
39	多田北鳥	麒麟ビール、麒麟レモン／麒麟麦酒株式会社	1932	Kirin Beer, Kirin Lemon	905×600

### 【多田北鳥】

多田北鳥（1889-1948）は長野県生まれの図案家です。1902年に上京し、川端美術学校などで絵画を学びました。1916年に第2回広告画図案懸賞募集で1等となり、以後はポスター図案家として活動。1922年には自宅にサンスタジオを起し、企業等に所属しない自営の図案家として、ポスター用原画や婦人誌・子ども向け雑誌の表紙絵、教科書の挿絵などを手がけました。

それまでの美人画ポスターは商品在前面に出さずあくまで女性ありきの構図だったのに対して、多田の代表作のひとつである《麒麟ビール、麒麟レモン》は、麒麟のマークを傘の模様として配置して大きく見せるという独創的で力強いレイアウトとなっています。

40	作者不詳	麒麟ビール／麒麟麦酒株式会社	1957以降	Kirin Beer	732×515
41	奥山儀八郎	ニッカウイスキー	1958	Nikka Whisky	502×477
42	作者不詳	東京菓子株式会社	1917-24頃	The Tokyo Biscuit & Confectionery Co., Ltd.	914×623
43	作者不詳	さけ缶詰を召しあがれ／日本鮭鱒缶詰業水産組合	1923-30年代	Japanese Canned Salmon	787×535
44	伊東深水	ベルベット石鹸	1926	Velvet Soap	928×614
45	作者不詳	レート石鹸／平尾賛平商店	1920-30年代	Lait Soap	782×526
46	前田貢	資生堂石鹸 金織美粧箱	1933	Shiseido Soap	787×531
47	作者不詳	クラブ化粧品	1920-29	Club Cosmetics	770×518
48	谷口タケオ	アイデアル香水／高橋東洋堂	1936	Ideal Perfume	768×526
49	作者不詳	仁丹のハミガキ	1930頃	Jintan Tooth Powder	780×359
50	池部鈞	せきどめニファトシンパステル	1920-30年代	Cough Medicine, Fatosin Pastilles	592×790
51	作者不詳	下剤 ラキサトル／塩野義製薬	1920-30年代	Laxative, Laxatol	594×786

52	作者不詳	ホシ小児専門薬／星製薬株式会社	1920年代前半	Hoshi Infant Specialized Medicines	531×253
53	広瀬貫川	血素！ ハイガミン／乾商会	1920-30年代	Vitamin Compound, Haigamin	786×346
54	武村清重	婦科靈薬 中将湯／津村順天堂	1935	Medicine for Female, Chujoto	753×513
55	作者不詳	補血 強壯剤 ポリタミン／武田長兵衛商店	1930-40年代	Tonic Polytamin	1,086×805
56	作者不詳	武田の家庭外傷薬 サキシロン／武田長兵衛商店	1930-40年代	Ointment, Saxylon	1,086×804
57	作者不詳	高速度滋養料 どりこの／大日本雄弁会講談社商事部	1930年代	Nutritional Drink, Dorikono	785×530
58	作者不詳	ヒーロー巻煙草／株式会社村井兄弟商会	1904以前	Hero Cigarettes	769×462
59	作者不詳	RADIO 通信省型式証明済受信機並二部分品／大阪無線電機製作所	1925	Radio	775×528
60	Noda ?	屋外照明器具／東京電気株式会社	1930頃	Outdoor Luminaire	917×622
61	松田富喬	三菱電気釜	1955以前	Mitsubishi Electric Rice Cooker	791×365
62	山名文夫	女性 十月特別号／プラトン社	1925頃か	Magazine, Josei October Special Number	744×350
63	作者不詳	プリミヤ自転車／株式会社丸石商会	1930年代	Premier Bicycle	1,057×375
64	作者不詳	蠅取デー／京都市保健部、京都市衛生組合連合会	1930年代	Catch Flies Day	543×375

### 第3章 大衆文化の時代

#### 【アール・デコの影響】

欧米で1910-30年代にかけて流行したアール・デコ様式は、流麗な曲線美をもつアール・ヌーヴォーとは対照的に、直線的で、機械的・実用的な美を特徴としていました。アール・デコのデザインは都市や工業の近代化に伴い自動車や高層ビルなどに用いられましたが、ポスターも例外ではありません。

1925年にパリで現代装飾美術・産業美術国際博覧会（通称「アール・デコ博覧会」）が開催されると、世界中でアール・デコ様式を取り入れたポスターが盛んに製作されるようになり、フランスのカッサンドルらが人気を博しました。日本においても、1920年代後半から直線や幾何学形態の多用、コントラストの強い配色といった力強いデザインのポスターが見られるようになります。

65	藤沢龍雄	北日本汽船株式会社	1926-31頃	The Nothern Japan Steamship Co., Ltd.	917×620
66	杉浦非水	東洋唯一の地下鉄道／東京地下鉄道株式会社	1927	Tokyo Metro	918×628

#### 【杉浦非水】

愛媛県に生まれた杉浦非水（1876-1965）は、松山中学卒業後に上京して日本画家・川端玉章に師事し、その後1897年に東京美術学校日本画専科に入学しました。在学中に黒田清輝の知遇を得てフランス語や西洋画の指導を受けるほか、黒田がフランスから持ち帰ったアール・ヌーヴォーのポスターを直接見る機会を得ることもできました。卒業後は黒田の紹介で大阪の三和印刷図案部に就職します。

転機は、1908年の三越呉服店図案部への就職で、27年間に渡ってポスターや機関誌の表紙絵、パンフレット等の制作に従事しました。アール・ヌーヴォーをはじめとする西洋の様式を取り入れた杉浦のモダンなデザインは、大衆の百貨店への憧れや購買意欲をかきたてました。

1927年に手がけた《東洋唯一の地下鉄道／東京地下鉄道株式会社》では、着飾った男女や子どもたちが地下鉄のホームにあふれんばかりに集っています。画面奥から「東洋唯一の地下鉄道」の車両が駅構内に入ってくるという遠近法を生かした構図も秀逸で、昭和初頭のモダン都市・東京の活気が伝わってくるようです。

67	小磯良平	N. Y. K. Line	1940	N. Y. K. Line	1,071×757
68	作者不詳	天下の名刹 越前永平寺参詣案内／越前電鉄、永平寺鉄道	1929頃	Eiheiji-Temple	773×345

69	作者不詳	永平寺二祖孤雲禪師六百五十回 大遠忌 大法要／越前電鉄、永平寺鉄道	1930頃	Eiheiji-Temple, Great Memorial Service	774×347
70	早川源一	甲子園・香櫛園 海水浴場／阪神電車	1932/1937	Koshien, Koroen Summer Beach	935×628
71	早川源一	鍛えよ 海に 甲子園・香櫛園 海水浴場 ／阪神電車	1935	Koshien, Koroen Summer Beach	937×715
72	作者不詳	海水浴は阪和浜寺へ／阪和電鉄	1929-40	Hanwa Hamadera	780×526
73	作者不詳	夏はよろし海のほとり 七月九日より八月 三十一日迄 汽車賃割引／大阪鉄道局	1930年代	Discount Tickets for the Seaside	1,088×772
74	作者不詳	六月一日より高架線改築工事の為 城東線 時刻改正／大阪鉄道局	1930年代	Timetable Revised	1,067×770
75	福永俊吉	京都へ／大阪鉄道局	1937	To Kyoto	1,067×771
76	里見宗次	日本国有鉄道	1937	Japanese Government Railways	1,002×637
77	橋本徹郎	華北交通株式会社	1930年代	The North China Railway Co., Ltd.	840×590
78	霜鳥之彦	金剛山／朝鮮総督府鉄道局	1932	Mt. Kongo-san of Chosen	1,102×781
79	霜鳥之彦	朝鮮へ／朝鮮総監府鉄道局	1935	To Chosen	1,088×725
80	榎本千花俊	滑れ銀嶺 歓喜を乗せて／鉄道省	1938	Ski	1,053×724
81	作者不詳	京都の春／京都市観光課	1938	Spring in Kyoto	1,071×760

#### 第4章 戦火の足音 / 平和の祈り

82	作者不詳	観光祭／国際観光局、日本観光連盟	1933以降	Tourism Campaign	923×652
83	作者不詳	第二線国防大展覽会／京都府国防協会／ 丸物	1930年代	Exhibition of 2nd National Defense Line	540×378
84	TATSU. 山.	鍛へよ雪に 備へよ銃後 スキーの草津へ ／草津温泉組合	1930年代後半 以降	Kusatsu for Skiing	915×615
85	作者不詳	非常時日本 明るい選挙 棄てるな一票／ 島根県	1930年代	Fair Election	744×524
86	作者不詳	肅正選挙とラヂオ	1935頃	Fair Election and Radio	773×549
87	早川源一	国民精神作興体育大会関西大会／大日本 体育協会、日本厚生協会	1937	Athletic Meet in Kansai for Inspiring National Spirit	942×629
88	杉浦非水	勸業債券売出し	20世紀前半	Hypothec Debentures	764×530
89	作者不詳	求めよ国債銃後の力 支那事変国債／大蔵 省、逓信省	1937頃	National Debentures for the Shina Incident	767×528
90	作者不詳	坊やも一役御奉公 支那事変国債／大蔵 省、逓信省	1937頃	National Debentures for the Shina Incident	726×500
91	作者不詳	支那事変国債／大蔵省	1937頃	National Debentures for the Shina Incident	773×525
92	作者不詳	第一回貯蓄債券／日本勸業銀行	1937	Saving Debentures	770×532

93	作者不詳	貯蓄報国週間／大蔵省、国民精神総動員中央連盟	1938	Saving Week	793×559
94	大橋	銃後の赤心燃え立つ援護／京都市	1930年代以降か	Homefront Support	784×537
95	作者不詳	仰げ聖恩貫け聖戦／京都府国防協会	1938-45	Crusade	785×552
96	作者不詳	作れ体力 押切れ時局 健康週間／京都府	1930年代以降か	Health Week	783×530
97	猪熊弦一郎	皇国を護る我等の健康 健康保険／健康保険協会	1940	Health Insurance	769×516
98	作者不詳 (読売新聞当選図案)	ボクラノ空ダ／立川飛行機株式会社	1940頃	Our Sky	875×618
99	藤田嗣治	空の神兵／監修 陸軍航空本部	1942	The Soldier of Sky	738×513
100	藤田嗣治	第二回聖戦美術展覧会／朝日新聞社、陸軍美術協会	1941	2nd Exhibition of Crusade Arts	755×536
101	宮本三郎	第三回航空日 九月二十日 空だ翼だ若人だ／情報局、航空局、大日本飛行協会	1942	3rd Aviation Day, Sky, Wing and Young Man	719×511
102	作者不詳	空だ男のゆくところ／大日本飛行協会	1942-43頃	Sky, Where the Man Goes	842×601
103	作者不詳	国民総決起／大政翼賛会、翼賛政治会	1940頃	The Nation General Mobilization	745×510
104	宮本三郎	第三十八回陸軍記念日 撃ちてし止まむ／陸軍省	1943	38th Army Anniversary	735×530
105	作者不詳	ポロの特別回収／東京都、大日本婦人会 東京都支部	1943-45	Rags Recovery	750×526
106	作者不詳	銅と鉄捧げて破れ！包囲陣／広島県、財団法人戦時物資活用協会	1943頃	Metal Recovery	758×512
107	岸信男	空襲なにもものぞ！／東京都、大政翼賛会 東京都支部	1944	Air-Raid is Nothing !	722×508
108	養祖宗三郎	我に備えあり、鉄石の軍備 四月十五日第四回国兵記念日／軍事部	1945	4th Universal Conscription Anniversary	1,010×738
109	作者不詳	産報教化画 必勝へ敵の生産追越す工夫！／日本工業教化振興連盟	1945	Illustration for Industrial Patriotism Society	547×786
110	酒井七馬	産報教化画 増産追撃戦！！／日本工業教化振興連盟	1945	Illustration for Industrial Patriotism Society	522×737

### 【ヒロシマ・アピールズ】

ヒロシマ・アピールズはJAGDA((公財)日本グラフィックデザイン協会)広島地区、(一財)広島国際文化財団、(公財)ヒロシマ平和創造基金の三者が主催して製作しているポスターで、JAGDA会員であるデザイナーのボランティアにより、1983年から現在まで毎年1点の製作が続けられています。第1回のデザイナーは当時JAGDAの会長であった亀倉雄策で、鮮やかな羽を持った蝶たちが燃え落ちていくイメージはのちに「第6回ラハティ国際ポスタービエンナーレ」で最高賞を受賞するなど大きな反響がありました。

その後もヒロシマ・アピールズには永井一正、田中一光、松永真、原研哉など日本を代表するデザイナーたちが参加し、ポスターを通じて被爆地・広島から世界へ平和を希求する心を発信しています。

111	亀倉雄策	ヒロシマ・アピールズ	1983	HIROSHIMA APPEALS	103.0×72.8 ★
112	栗津潔	ヒロシマ・アピールズ	1984	HIROSHIMA APPEALS	103.0×72.8 ★
113	福田繁雄	ヒロシマ・アピールズ	1985	HIROSHIMA APPEALS	103.0×73.0 ★

114	永井一正	ヒロシマ・アピールズ	1987	HIROSHIMA APPEALS	102.7×72.7	★
115	田中一光	ヒロシマ・アピールズ	1988	HIROSHIMA APPEALS	103.2×72.8	★
116	仲條正義	ヒロシマ・アピールズ	2005	HIROSHIMA APPEALS	102.8×72.7	★

## 第5章 博覧会とオリンピック

117	中島 五郎	大礼記念京都大博覧会／京都市	1928	Grand Exposition in Commemoration of the Imperial Coronation	1,224×905	
118	山田伸吉	躍進日本大博覧会／岐阜市	1936	Exposition of Japan	1,069×761	
119	作者不詳	名古屋汎太平洋平和博覧会／名古屋市	1937	Exposition of Pan-Pacific Peace in Nagoya	1,065×766	
120	中山文孝	紀元二千六百年記念 日本万国博覧会	1940	The Imperial Year 2600 Memorial International Exposition of Japan	1,050×772	
121	亀倉雄策	大阪日本万国博覧会	1967	Japan World Exposition	1,035×728	
122	福田繁雄	1970年日本万国博覧会	1967 以前	Japan World Exposition, Osaka 1970	1,026×725	
123	大高猛	1970年日本万国博覧会	1970 以前	Japan World Exposition, Osaka 1970	1,031×659	
124	横尾忠則	1970年日本万国博覧会 せんい館	1970	Textile Pavilion, Japan World Exposition, Osaka 1970	1,036×770	
125	亀倉雄策	第18回オリンピック東京大会 1964年	1961	18th Olympics, Tokyo 1964	1,020×549	

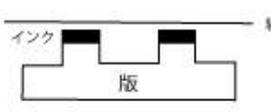
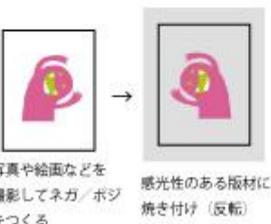
### 【亀倉雄策】

少年期から映画やその宣伝に使われるポスターのデザインに関心を寄せていた亀倉雄策(1915-97)は、1935年に新建築工芸学院に進学、1938年には日本工房に入社します。戦時下の日本工房は対外プロパガンダのためのグラフィ誌『NIPPON』を発行しており、亀倉はそこで雑誌編集や装丁の技術を習得しました。戦後の亀倉は1951年の日本宣伝美術会、1960年には日本デザインセンターの創立に携わりますが、1962年に亀倉デザイン研究室を設立して独立しました。1964年東京オリンピックのシンボルマークやポスターのデザインは、指名を受けた6人のデザイナーによるコンペを経て亀倉の案が採用されました。ポスターに使用された写真は亀倉が信頼する広告写真家の早崎治によるもので、照明を消した夜の国立競技場を使用して撮影されました。一瞬を切り取ったダイナミックな構図で選手たちの緊張が伝わるデザインは好評を博し、国内初のオリンピック開催への期待感を高めました。その後も亀倉は1970年の万国博覧会や1972年の札幌冬季オリンピックの公式ポスターを手がけて、国際的な評価を確固たるものとししました。1971年にはグラフィックデザイナーとしてはじめて芸術選奨を受賞しており、「デザイン」という言葉を日本に浸透させたパイオニア的存在でした。

	AD: 亀倉雄策					
126	PD: 村越襄 Ph: 早崎治 AD: 亀倉雄策	第18回オリンピック東京大会 1964年	1962	18th Olympics, Tokyo 1964	1,037×725	
127	PD: 村越襄 Ph: 早崎治 AD: 亀倉雄策	第18回オリンピック東京大会 1964年	1963	18th Olympics, Tokyo 1964	1,036×726	
128	PD: 村越襄 Ph: 早崎治	第18回オリンピック東京大会 1964年	1964以前	18th Olympics, Tokyo 1964	1,041×726	
129	田中一光	第11回冬季オリンピック札幌大会 1972年	1968	11th Olympics Winter Games, Sapporo 1972	1,030×728	
130	細谷巖	第11回冬季オリンピック札幌大会 1972年	1972	11th Olympics Winter Games, Sapporo 1972	1,037×726	
131	亀倉雄策	第11回冬季オリンピック札幌大会 1972年	1969	11th Olympics Winter Games, Sapporo 1972	1,035×725	

132	亀倉雄策	第11回冬季オリンピック札幌大会 1972年	1970	11th Olympics Winter Games, Sapporo 1972	1,038 × 727
133	青葉益輝	第18回冬季オリンピック長野大会 1998年	1994	18th Olympics Winter Games, Nagano 1998	929 × 729
134	AD: 浅葉克己 Ph: 操上和美	第18回冬季オリンピック長野大会 1998年	1995	18th Olympics Winter Games, Nagano 1998	1,031 × 731
135	絹谷幸二	第18回冬季オリンピック長野大会 1998年	1998	18th Olympics Winter Games, Nagano 1998	1,030 × 729
136	鈴木八朗	第18回冬季オリンピック長野大会 1998年 開会式	1998	18th Olympics Winter Games, Nagano 1998, Opening Ceremony	1,030 × 727

### ポスター・製版・印刷の技術

<p>木版画 (凸版)</p>	<p>木版画に代表される凸版印刷は最も古い歴史をもつ印刷技術で、日本では江戸時代に始まる浮世絵も凸版印刷の一種です。木材(版木)に彫刻刀などを使って作り出した凸部分にインクを載せて紙に転写します。色ごとに版をわけることで多色刷も可能です。</p>	
<p>リトグラフ (平版)</p>	<p>リトグラフは1798年にドイツで発明された平版印刷術で、水と油の反発する性質を利用した技法です。版材をクレヨンなど油脂分の高い画材で描画したあと、アラビアガムを全体に塗ります。すると化学反応によって描画部分は親油性、それ以外の部分は親水性となり、描画部分のみに油性インクが付き印刷することができます。</p> <p>日本で初めてのリトグラフポスターは1881年に作られ、広い面積の色刷りが容易にできることなどからポスター印刷では主流の技術となりました。</p>	
<p>写真製版 (凸版、凹版、平版、孔版 いずれにも 応用可能)</p>	<p>19世紀に誕生した写真技術を応用した製版技術で、ポスター印刷では1920年代後半から広く普及しました。</p> <p>写真や絵画などの原稿をカメラで撮影してネガまたはポジをつくり、感光性のある版材に焼き付けることで版を作ります。色フィルターをさしかえながら製版カメラで原画を撮影することで、画工がひとつひとつ版を起す作業が省略され、機械的に版をわけることが可能となりました。</p>	
<p>オフセット 印刷</p>	<p>CMYKの4色の版をつくり、一枚の紙に4つの色を刷り重ねていくことで最終的な仕上がりが色を再現する技術です。通常の印刷では版につけたインクを直接紙に印刷しますが、オフセットではいったんゴムのブランケットに転写しこれを紙に印刷します。</p> <p>日本では1913-14年に国産の印刷機が作られました。短時間で色も鮮明な大量印刷が可能のため、現代でも多用されている印刷技術です。</p>	